

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

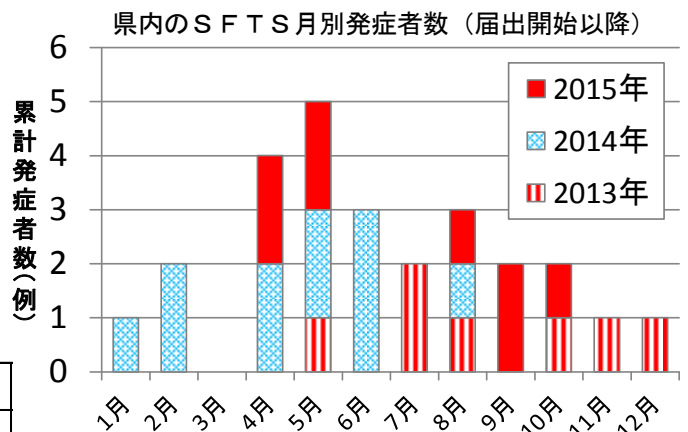
宮崎県第45週の発生動向

トピックス

・重症熱性血小板減少症候群(SFTS) (全数報告の感染症) の届出が宮崎市保健所管内で1例あった。県内での報告は今年8例目、累計27例目となった。患者は80歳代男性で、10月下旬に発症し、数日後に死亡した。ダニの刺し口があり、海外渡航歴はなかった。

県内のSFTS年齢別報告数(例)
(届出開始前の1例含む)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	7	6	9	1



全数報告の感染症 (45週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核6例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病4例。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	女	肺結核	咳
			60歳代	女	肺結核	咳、痰
			70歳代	女	肺結核	咳、痰
		都城	80歳代	女	肺結核	呼吸困難
		高鍋	80歳代	男	肺結核	咳、痰
		高千穂	80歳代	男	疑似症患者	咳、痰
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	80歳代	男	—	発熱、神経症状、食欲不振、全身倦怠感、血小板・白血球減少、リンパ節腫脹、出血傾向、刺し口
	つつが虫病	小林	20歳代	男	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹
			60歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			60歳代	男	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		60歳代	男	—	頭痛、刺し口、発疹	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は797人(定点当たり25.0)で、前週比93%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と伝染性紅斑と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

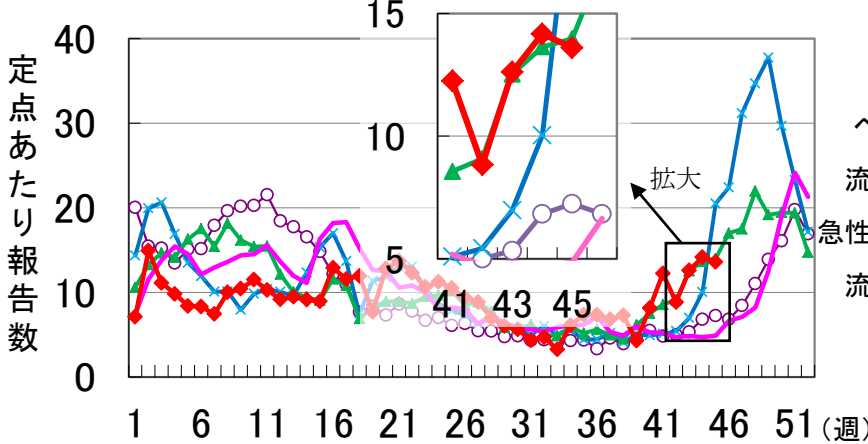
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

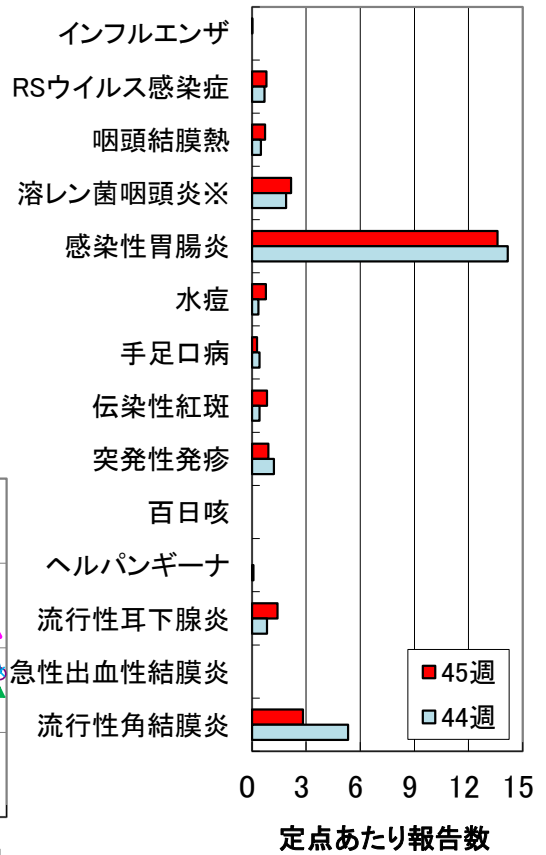
・報告数は490人(13.6)で、前週比96%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(10.6)の約1.3倍であった。小林(25.7)保健所からの報告が多く、年齢別では1~3歳が全体の約4割を占めた。

*過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値。

感染性胃腸炎 発生状況



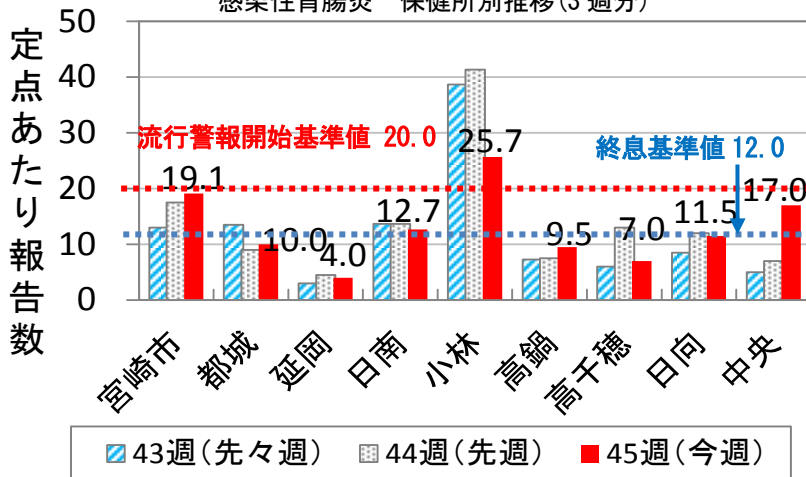
《前週との比較》



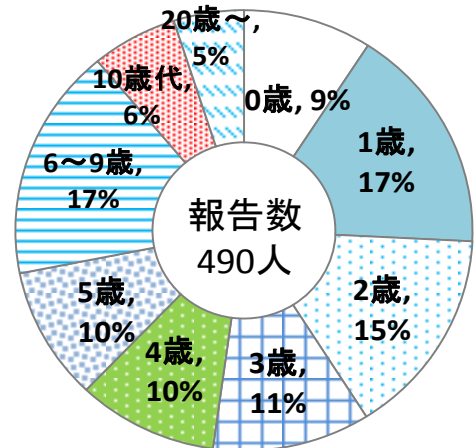
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

○2011年 ◆2012年 ▲2013年 ▼2014年 ◆2015年

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



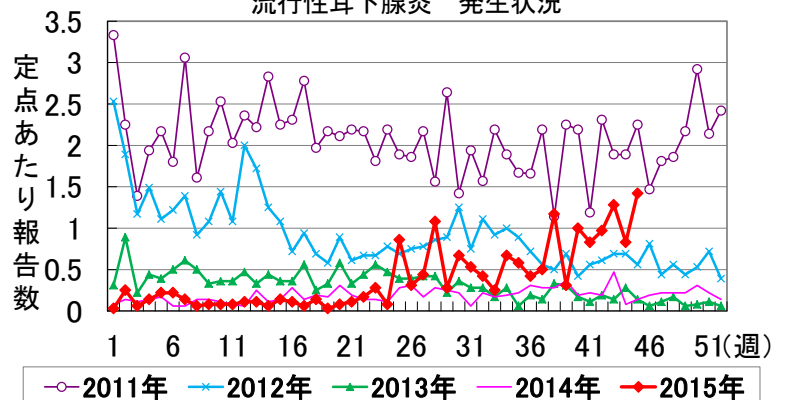
感染性胃腸炎 年齢別割合(45週)



【流行性耳下腺炎】

・報告数は51人(1.4)で、前週比170%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.0)の約1.4倍であった。小林(6.3)、延岡(6.0)保健所からの報告が多く、年齢別では4~6歳が全体の約6割を占めた。

流行性耳下腺炎 発生状況



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：高鍋保健所から4例報告があった。いずれも5～9歳で、咽頭ぬぐい液から *Mycoplasma pneumoniae* が検出された。

★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性耳下腺炎(6.0)
日南	咽頭結膜熱(4.3)、伝染性紅斑(2.3)
小林	感染性胃腸炎(25.7)、流行性耳下腺炎(6.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

流行警報レベル開始基準値

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

📊 全国第44週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第44週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	308例				
3類感染症	細菌性赤痢	4例	腸管出血性大腸菌感染症	34例	腸チフス	1例
	パラチフス	1例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	コクシジオイデス症	1例
	つつが虫病	6例	デング熱	2例	日本紅斑熱	4例
	日本脳炎	1例	レジオネラ症	18例		
5類感染症	アメーバ赤痢	11例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	21例
	急性脳炎	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例	後天性免疫不全症候群	14例
	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	29例
	水痘（入院例）	2例	梅毒	42例	播種性クリプトコックス症	1例
	破傷風	1例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	2例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 104%とほぼ横ばいであった。前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

RSウイルス感染症の報告数は4,740人(1.5)で前週比115%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.88)の約1.7倍であった。山形県(5.8)、福島県(5.2)からの報告が多く、年齢別では1歳が全体の約4割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は15,919人(5.1)で前週比117%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.7)の約1.1倍であった。宮崎県(14.2)、福井県(13.8)、鹿児島県(12.0)からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約4割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第45週(11月2日～11月8日)

疾病名		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数		1									1
	定点あたり	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	25	29	10	1	4	1		13			
	定点あたり	0.69	0.81	1.00	0.17	1.00	0.33	0.00	3.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	18	26	3	1	1	13		2		6	
	定点あたり	0.50	0.72	0.30	0.17	0.25	4.33	0.00	0.50	0.00	1.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	68	78	10	8	22	14		4		20	
	定点あたり	1.89	2.17	1.00	1.33	5.50	4.67	0.00	1.00	0.00	5.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	510	490	191	60	16	38	77	38	7	46	17
	定点あたり	14.17	13.61	19.10	10.00	4.00	12.67	25.67	9.50	7.00	11.50	17.00
水痘	報告数	13	28	8	5	12	1				2	
	定点あたり	0.36	0.78	0.80	0.83	3.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	15	10	3	1				2		4	
	定点あたり	0.42	0.28	0.30	0.17	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	1.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	15	30	8	8	2	7	3	1	1		
	定点あたり	0.42	0.83	0.80	1.33	0.50	2.33	1.00	0.25	1.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	44	33	11	7	1	6		3	1	2	2
	定点あたり	1.22	0.92	1.10	1.17	0.25	2.00	0.00	0.75	1.00	0.50	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3										
	定点あたり	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	30	51	1	3	24		19	3		1	
	定点あたり	0.83	1.42	0.10	0.50	6.00	0.00	6.33	0.75	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	32	17	9	5	3						
	定点あたり	5.33	2.83	3.00	2.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	5	4						4			
	定点あたり	0.71	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～45週)

2類感染症	結核	181例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	104例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	8例(1)
	つが虫病	7例(4)	デング熱	1例	日本紅斑熱	9例
	マラリア	1例	レジオネラ症	4例	レプトスピラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	後天性免疫不全症候群	15例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症	3例
	破傷風	8例				

()内は今週届出分、再掲